

IC乗車券等の国際相互利用化(参考)

『一枚のICカード等でアジア各都市の交通機関をキャッシュレスで利用できるようにする』ことを目指す。



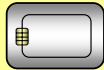
IC乗車券等国際相互利用促進方策検討委員会(昨年9月設置、今年3月最終報告書作成)

委員長 浅野正一郎 国立情報学研究所教授(国交省CIO補佐官)

委員 白石 隆 政策研究大学院大学副学長(外交政策勉強会メンバー) 他

最終報告では、下記の3方策を提示、本年度より実証実験を実施することを決定。
また、国際ワーキンググループの開催についても決定。

1. 『IC乗車券の国際的発行ネットワークの形成』
旅行先のIC乗車券を出発国で、事前入手



旅行先のIC乗車券を



ネットで



旅行会社で

事前に出発国で入手

2. 『IC乗車券の国際決済システムの形成』
国際ポストペイ方式(クレジットカードによる後払い方式)の導入

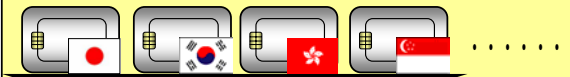
日本のIC乗車券の決済を
韓国のクレジットカードで実施。
(実験対象:韓国人旅行者)

IC乗車券

日本の
IC乗車券機能

韓国の
クレジットカード

3. 『アジア各国の規格に対応できる共通IC乗車券の開発』
マルチIC乗車券を開発し、複数国の乗車券機能を搭載



マルチICカードを開発

共通IC乗車券

各国の改札機で利用可能

各国改札機

